

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



＜4/10:まおい学びのさと小学校「入学のつどい」＞

2023年4月、長沼町にて「新しい認可学校」が始まりました。
『北の大地に自由と協同の教育・学び舎』を掲げ35年。多くの
関係者・支援者のもとスタートです。(親子含め約200名参加)



INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンラスト/運動他
- p3: 会費、実践から
- p4-5: 認定NPO「総会報告」
- p6-7: スクール1 学期進行
- p8: エッセー、カレンダー、後記
付/イベントなど

75回目の「こどもの日」に考える

認定NPO法人北海道自由が丘学園・学園長 大塚 勲

今年の「こどもの日」は、最初の1949年5月5日から数えて75回目になる。この祝日の趣旨は「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことにあり(祝日法、1948年)、男の子の成長を祝う端午の節句とは別物である。

4月には「子ども基本法」が施行され、同時に“こどもまんなか”を掲げて「こども家庭庁」が発足した。同法は、“日本国憲法及び児童の権利に関する条約(こどもの権利条約)の精神にのっとり(第1条)、こどもや若者が将来にわたって幸せな生活ができる社会を実現するために制定された」と「こども家庭庁」は説明している。総務省発表による15歳未満の子どもの推計人口は、42年連続減少で約1400万人余り。総人口比11.5%は人口4千万人以上の36か国で最下位。21年度の不登校生は全国24万人以上(中学生は20人に1人)、いじめや虐待件数とともに過去最多になっている。

ユニセフの幸福度調査で日本の子どもは、身体的健康度1位である一方、精神的幸福度ワースト2位と発表されていて、「すぐに友達ができる」子どもの割合も70%以下でワースト2位である(「いずれも世界38か国中」)。これらの指標は、現在の日本が“こどもまんなか”とも、“幸せな生活ができる社会”ともほど遠いことを示している。

出生数が初めて80万人を下回ると知った政府は、3月「異次元の少子化対策(試案)」を発表したが、その中身は多くの親や子育て関係者の期待とは程遠く、予算規模も財源裏付けも決まっていない。今後5年間の軍事費(防衛費)増を早々に打ち出したのとは大違いである。政府の本気度をしっかりと見極めながら、子どもの幸せを本当に実現できる社会と国作りを進めなければならない。